



横川理彦

Tadahiko Yokogawa

作詞・作曲・編曲

1980年に京都大学文学部哲学科を卒業後、本格的な演奏活動に入る。

1982年にキングレコードよりアルバム「99.99」（フォー・ナイン）をリリース、その後4-D、P-Model、After Dinner、Metrofarce、Meatopia等に参加。

電子楽器と各種生楽器を併用する独自のスタイルに至る。海外でのコンサート・プロジェクトも多数。

現在は、cycleレーベルからのソロアルバム制作、即興を中心としたライブ活動などの他、演劇・ダンスのための音楽制作など多方面で活動中。また、コンピュータと音楽に関する執筆、ワークショップなども多い。

【舞台】

ZAZOU THEATER 『ウェアハウス』

T.P.T 『楽屋』

ホリプロ、テレビ朝日 『奇跡の人』

テレビ朝日、シーエィティブロデュース、ぴあ、銀河劇場
『FROST/NIXON』

産経新聞社、パソナグループ、ヴィーブル 『宮城野』

キューブ、ブリーゼアーツ 『冬の絵空』

TBS 『余命1ヶ月の花嫁』

東京グローブ座 『SEMINAR』

石見神楽 東京・大阪公演参加（オタケビ神楽団）

【映画】

廣木隆一監督 『MIDORI』（1996）

荒井晴彦監督 『身も心も』（1997）

【ゲーム】

『Pet in TV』

（ソニー・コンピュータエンタテインメント）

『太鼓の達人』

（バンダイナムコエンターテインメント）

【著書・雑誌連載】

ビー・エヌ・エヌ

『NEIRO—よい「音色」とは何か』

『サウンドプロダクション入門-DAWの基礎と実践』

リットーミュージック

『ギタリストのためのアシッド』

『初級多重録音講座 HDRで行こう！』

『アンプ・シミュレーター100%』

【講師歴】

映画美学校

美学校

【作品 -ソロ・アルバム】

『Two of Us』（Vivid Sound）

『Tarascon』（Vivid Sound）

『DIVE』（Disk Union）

『Solecism』（Disk Union）

『May Songs』（pick）

『Volo Interno』（pick）

『753』（narrow-it）

『Tarascon Years』（Disk Union）

『Crackle』シリーズ（cycle）

【作品 -参加アルバム】

4-D 『Style of Building』（Telegraph）

After Dinner

『Glasstube』（カンガンレコード）

『Paradise of Replica』（Recrec）

『Editions』（Recommended）

P-Model 『カルカドル』（Alfa）

Meatopia 『Meatopia』（Vivid Sound）

Metrofarce

『風狂伝』（Kitty）『Limbo島』（エッグマンディスク）

『俺さま祭』（Rambling Label）

installing 『saraswati』（1050）

4-D 『Denkmal』

Blan（『胤』『Blue&Vert』）

【共演】

Fred Frith, 平沢進, Haco, 戸川純, 鈴木惣一朗,

巻上公一, Iva Bittova, EXPO, Tipographica,

あがた森魚, 青山陽一, 内橋和久, 大島保克, 福岡ユタカ,

ヤドランカ, 中村としまる, ヲノサトル,

Ferdinand Richard, Frank Parl, Ensemble Raye,

Abdallah Zrika, Charbel Haber, Ala' Diab

【参加プロジェクト】

Sheikmat（マルセイユ・モロッコ・イタリアの

詩人プロジェクト）

OrMuz（フランス・シリア・レバノン・ヨルダンの

共同プロジェクト）

PacJap（マルセイユ・日本のMaxプロジェクト）

擦弦楽団（アジア6地域の擦弦楽器のプロジェクト）



ホリプロ、テレビ朝日
「奇跡の人」